



- ※1. 錠本体と受座取り付け面が平行の場合
→箱受座+切欠図①を使用
- ※2. 錠本体と受座取り付け面が90°曲がっている場合
→平受座+切欠図①を使用 (別途掘込加工が必要)
または
→箱受座+切欠図②を使用
別売りのATライナーを使用する場合、ATライナーに同梱されている
取付説明書を併せてご覧下さい。